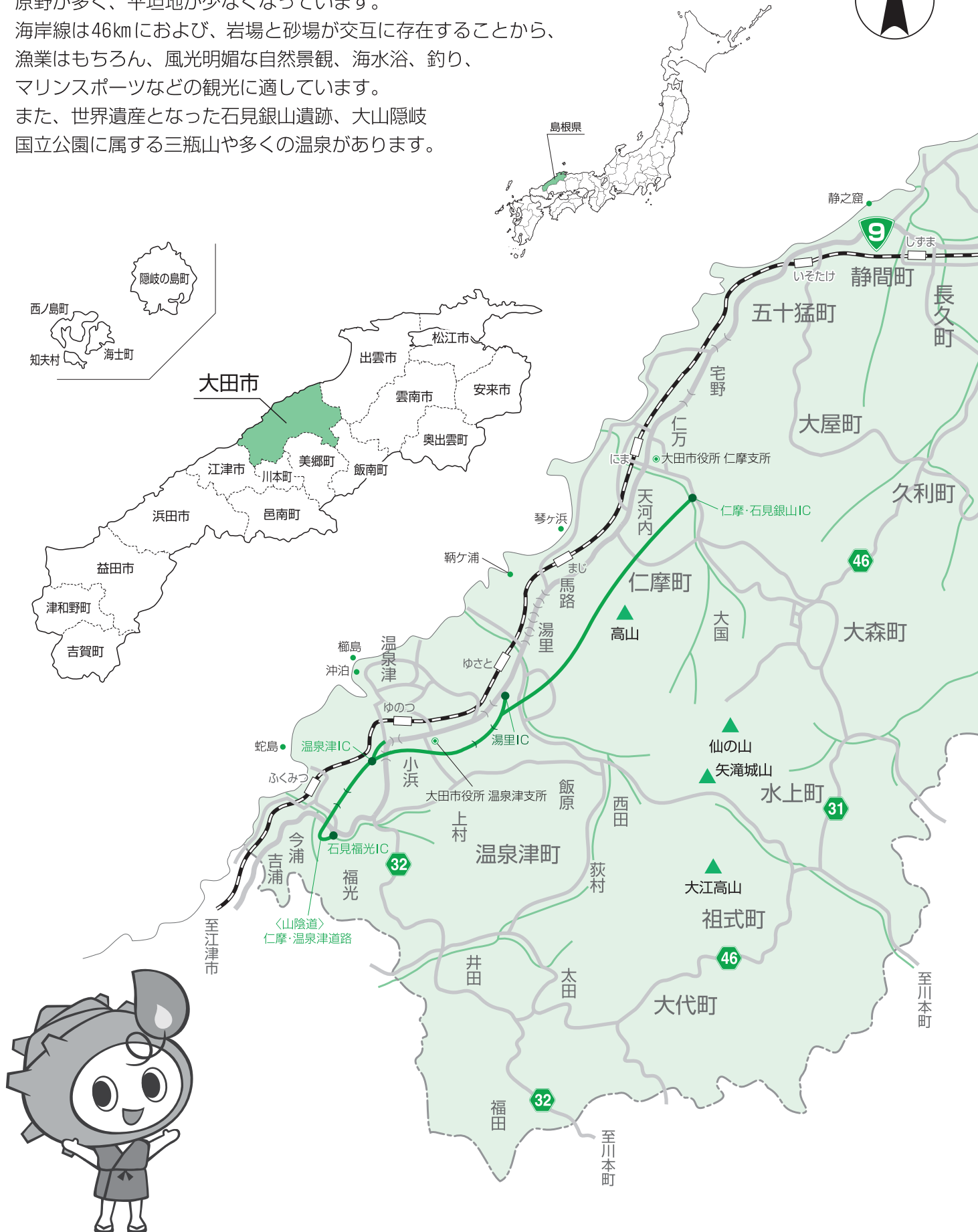
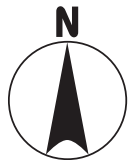


大田市の地勢

大田市は、島根県のほぼ中央に位置し、面積は435.71km²です。北部は日本海に面していますが、急峻な中国山地が海岸に迫っているため山林原野が多く、平坦地が少なくなっています。

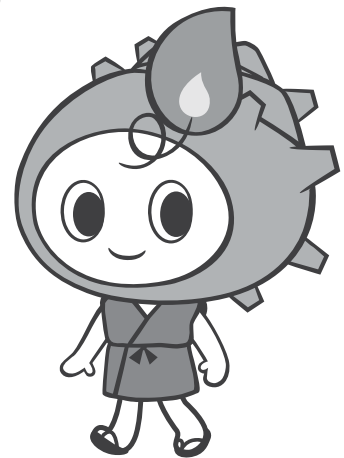
海岸線は46kmにおよび、岩場と砂場が交互に存在することから、漁業はもちろん、風光明媚な自然景観、海水浴、釣り、マリンスポーツなどの観光に適しています。

また、世界遺産となった石見銀山遺跡、大山隠岐国立公園に属する三瓶山や多くの温泉があります。



大田市の概況

- 世帯数／15,579世帯
- 総人口／34,141人
 - 男 性／16,318人
 - 女 性／17,823人(R2.4.1 住民基本台帳)
- 面 積／435.71km²
- 主な山／三 瓶 山→1,126m
大江高山→ 808m
- 主な川／静 間 川→ 20.2km
三 瓶 川→ 17.6km
- 位 置／東経 132°30′
北緯 35°11′
(市役所)



大田市の歴史

出雲地域と石見地域の境界に位置しており、双方の文化の中継点として、さらには、鎌倉時代末期に発見されたといわれる石見銀山を中心に発展し、江戸時代には日本経済にも大きな影響を与えた地域として栄えてきました。昭和28年に制定された町村合併促進法の施行を機に、昭和29年に市制を施行して以来、4次にわたる合併を経てきた「大田市」と、昭和29年にそれぞれ町村合併し、町制を施行した「温泉津町」「仁摩町」が平成17年10月1日に合併し、新生「大田市」が誕生しました。